

## 文化・芸術

### 「蝶」

1941年 油彩、カンバス  
41・1<sup>1/2</sup>×31・9<sup>1/2</sup>  
(広島市現代美術館蔵)

鬚光 (1907〜46年)

10日から大川美術館では、企画展「広島市現代美術館所蔵作品を中心にPart1 鬚光(あいみつ)」と同時代の仲間たち「展が始まります。この展覧会は、戦後75年を迎えた今年、広島市現代美術館所蔵作品によって、戦時を生きた画家たちがいかにモノを見つめ描くことを続けたかを再考するものです。

鬚光(本名石村日郎)は、広島に生まれ、昭和戦前期に活躍し、日本の油彩表現を体質化できた画家の一人とされます。1944年に応召され、終戦後、上海で戦死しました。本展では、鬚光と、同時代の画家の作品を、30年代後半から50年代初頭までの作品約50点によって紹介します。

なお、この展覧会は、広島市現代美術館との共催により開催されるものです。「Part1 鬚光と同時代の画家たち」について来年1月には「Part2 70年目の原爆の凶」を開催します。2会期にわたる2部構成により、昭和の時代を生きた画家を再検証します。(小此木)

### 名画の扉

大川美術館企画展から

